

☆ 活動報告書 ☆

1, 活動名：帝京大学総合博物館見学会『縄文なぞとき教室』

2, 開催日：2025年3月8日（日） 13:30～16:00

3, 経緯と目的：

『地域に眠る縄文文化を子どもたちにも伝えたい』との声があり、東京都埋蔵物文化材センターのご協力を得て、昨年、秋葉台小サマースクールの一コマに有志4名で出展しました。

普段は考えもしない、遙か昔の痕跡が、すぐ近所の大栗川沿いにあることを知ること、「子ども達みんなの命の大切さを感じ、より良い地域づくりにも繋がる」と、確かな手ごたえがありました。この場限りで終わることはもったいないとの思いから、正式に「大栗川縄文クラブ」を立ち上げました。次なる活動を検討する中で、帝京大学総合博物館から協力して頂けることになり、今回のイベントを実施できました。

4, 参加者：

参加者の内訳は、下記のとおりです。

子ども：6名、保護者：4名、一般その他：10名

帝京大学総合博物館：1、大栗川縄文クラブ：4、取材1 総計：26名

5, イベント概要：

○ スケジュールは下記のとおりです。

13:30～13:40 大栗川縄文クラブの挨拶（自己紹介）

13:40～13:50 帝京大総合博物館の挨拶

13:50～14:40 施設見学

14:40～14:50 トイレ休憩

14:50～15:20 なぞとき教室

15:20～15:50 質疑応答（ざっくばらんな意見交換も）

○ 概要

総合博物館の学芸員さんから、参加した皆さんに丁寧な説明を含めて、総合博物館の展示物の説明をして頂きました。

一通り見学した後、大栗川縄文クラブの奥山さんを中心に、縄文文化や博物館に関わる「なぞとき教室」をしました。実物や身近に感じてもらうことに努め、子どもから大人まで、積極的な声が飛び交いました。

最後に、今回の研修会に参加した感想を聞くアンケートを実施し、その場で回収しました。



6, 総括：

(1) 来場者アンケート結果：有効回答率50%（・・・子ども同伴の影響も）

1) 満足度：「展示室見学」90点、「縄文なぞとき教室」80点

2) 頂いた主な感想や意見

- ・いろいろと話をしてくれて勉強になった。いろんなことを知れた。
(子ども本人の記述)
- ・縄文－縄で模様を付けたと言い換えていらしたように、易しい表現が多々あったので、子どもたちが楽しんでいた様子で良かった。
- ・質疑応答が盛り上がり過ぎて、(自分の)子どもが付いていけなかった。大人にはとても面白かったです。
- ・子どもさんたちが積極的に参加していて、こちらも楽しくなりました。有難うございました。

(2) 地域からのご支援

- 1) 人：「愛宕小・青少対」、「包括支援センター」など
- 2) モノ：缶バッジ(由木かたくりの会)、すごろく(地域活動者)
- 3) カネ：にこにこ福社会(八王子市民活動協議会)、参加者から寄付
- 4) 場：帝京大学総合博物館

(3) その他の成果：

今回のイベントに際し、市内東部地区にある小中学校の全てを廻り、約1/3の校長(1校は副学校長)とコンタクトができました。

「3月8日の参加自体は厳しいが今後も応援していきたい」との声援が、特に松が谷中学校・松が谷小学校・由木東小学校などから大きく上がりました。・・・今まで東京都埋蔵文化財センター見学を見送っていた松が谷小学校は、令和7年度からは何とかカリキュラムに入れたい」との発言も校長からありました。

7, 感想と今後について：

今回ご参加頂いた皆さまを始め、縄文文化を愛する人たち、学校など教育関係者、地域の人たち皆さんとともに、これからの活動を広め発展させていきたいと考えています。

8, イベントの様子：



以上